

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	わわ		
○保護者評価実施期間	2026年 3月 23日 ~ 2026年 3月 31日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	19 (回答者数)	12
○従業者評価実施期間	2026年 3月 23日 ~ 2026年 3月 31日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	13 (回答者数)	11
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 4月 15日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・ひとりひとりに合わせてオーダーメイドの支援を行っています。	・保護者様とご本人のニーズに沿った支援ツールや、興味関心を取り入れた自立課題などを作成しています。製作活動やクッキングも、発達段階に合わせて個別活動と集団活動を分けて支援を組み立てています。	・低学年、高学年、中高生などのグループ分けをして、それぞれが楽しめるような活動プログラムを検討します。 ・室内でも身体を動かせるような活動も取り入れます。
2	・アットホームな雰囲気の中で、専門性に基ついた発達支援を行えています。	・あくまでも放課後に安心して過ごせる場であることを大切にしています。利用者様がリラックスできるように、ひとりひとり個別のスケジュールを用意して「見通しを持って」「自分で理解できる」ための工夫をしています。	・就学前に通っていた児童発達支援事業所との連携（移行支援）や、高校卒業後の進路先への移行支援などを強化していきます。（わかりやすい資料作りや事業所訪問など）
3	・サービス担当者会議など、関係機関との連携（ネットワーク作り）に積極的に取り組んでいます。	・会議に参加するための資料は、ご家族や関係者にわかりやすく写真入りで作成しています。地域の事業所との関係作りの一環として、他事業所の見学に行ったり、わわに見学に来ていただいたりする機会を設けています。	・今後は、管理者や児発管以外の現場職員も一緒に地域のネットワークに参加していきます。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・第三者による外部評価が実施できていません。	・会社全体として課題という認識が不十分だと考えています。	・支援内容については、外部のコンサルテーションを取り入れることを検討しています。 ・まずは会社内の他の事業所と職員同士の交流
2	・地域の他の子どもと交流する機会が少ないです。	・地域の公園や公共施設に外出することがあり、自然発生的に交流する機会がありますが、充分とは言えません。 ・利用者様の要望があるかどうかも把握できていません。	・引き続き、積極的に社会資源を活用していきます。 ・地域の子どもと交流する機会について、ニーズがあるかどうかの調査も検討します。

3	・定期的に広報誌（通信）を発行できていません。	・職員体制が新しくなり、担当者が不明確なままです。	・担当者と発行時期を決めて、確実に発行できるように努めます。また、業務のICT化も進めて事務作業の効率化を図ります。
---	-------------------------	---------------------------	------------------------------------------------------------